

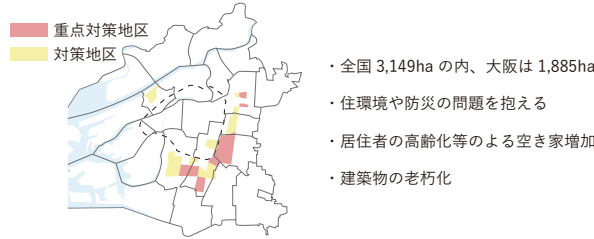
# 家朽ちて、山と帰す —都市の『山』—

古来より存在する木造文化により、大量に建設されてきた木造建築は見方を変えると、**木材資源を保管する都市の『山』**として捉えることができるのではないだろうか。

木造建築の「資源性」に着目し、段階的な解体の中で発生した部材や空間と住民たちの新たな関係性を作り出す資源の貯め方を提案し、都市の『山』としての有用性を示すことで**行為や場を作り出し都市更新を行う。**

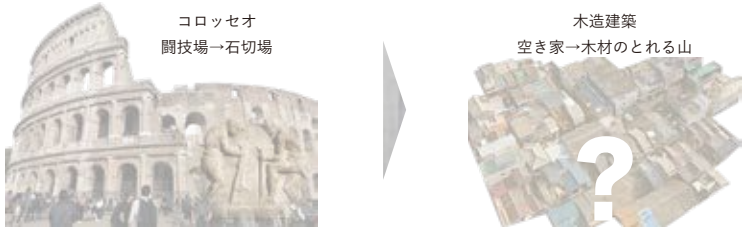


## 00. 背景：腐敗するモクミツ



戦前に建設された建築物が木造住宅密集地域（＝以下、モクミツと記す）として残っている。主にスクラップ&ビルドという形で整備を進めており、「**資材**」を減らし「**廃材**」を生んでいるに過ぎない。また、その量の多さから手を付けられていない地域は取り残され、「腐敗」していつているのではないだろうか。つまり、まだ価値や可能性を残した、多くの木々を持つ『山』が、取り壊されるか、「腐敗」するのを待っていると考えられる。

## 01. 問題提起：都市の『山』



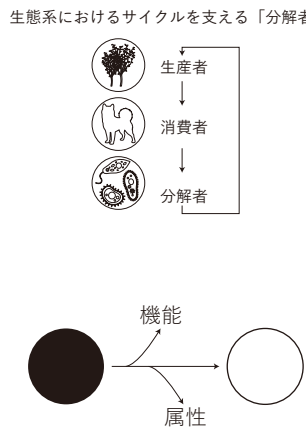
建築の解体時は大半が産業廃棄物として、単一的に処理され無差別に碎かれている。まだ価値や可能性を残した資源としての都市の『山』が取り壊され「腐敗」しているとも考えることもできる。「**廃材**」と「**資材**」の境界を問い直すことで、**都市を資源の『山』として活用**できる可能性を探る。木造建築の資源性に着目することで、「腐敗」していくモクミツの価値を生み出す、資源の活用を再考し提案する。

## 02. 敷地：大阪市生野区

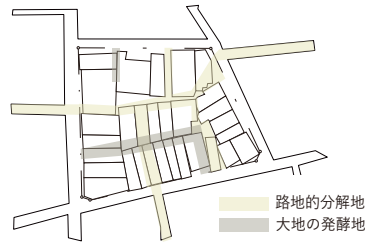


大阪市生野区は環状線の東側に隣接し、現状、**モクミツが最も多く残る地域のひとつ**である。個人商店や町工場が多く、**町工場と地域のコミュニティ同士が生活の中で重なる**ことで住民同士の関係性が作られてきた。商店街や学校、戦前から残る通りがあり、平日でも地域住民が散歩や買い物で訪れている。多くみられる路地では、イスを置いて談笑したり、植木鉢や自転車を置いたりするなど、**生活空間と路地を一体化**させたように使い住民たちの生活があふれ出している。

## 03. 提案：解体から生産へ「発酵」のプロセスによる都市更新



### 建築の分解：都市の『山』への読み替え



空き家の分解にモクミツの解消を図る。分解で生じた路地的空間は既存道路の延長で周囲を引き込み、発生した廃材を「**資材**」として再構築する。間引かれていくことで住環境と防災面の改善を図るとともに『山』から資源を採る。

### I 建物の発酵



### II 大地の発酵

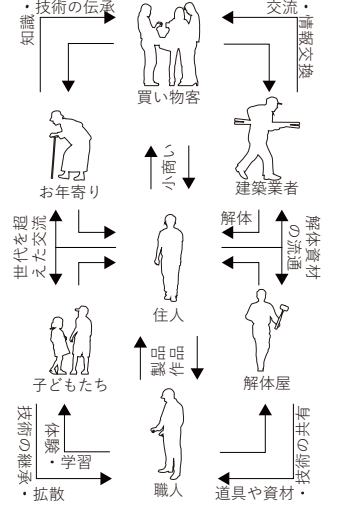


### III 資材の発酵



### 「分解者」：アクターズネットワーク

既存のコミュニティを基盤として維持しながら、「発酵」を促す都市の分解者として利用者や新規参入住民周辺住民との新たなネットワークを構築し活動する。活動やモノを通じて、貯められた資源が再び流通することで、ここは木工所となり、共同作業場となり、共同資源場となり、まちのストックヤードとして使われ、**新たな価値の再分配を行うきっかけとなる地域の拠点**として機能する。







路地的分解地では生活空間と路地が一体化することで、路地を介して築かれてきた住民同士の関係性が敷地内部に引き込まれる。



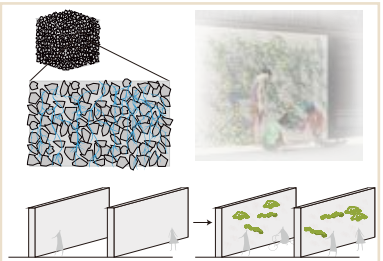
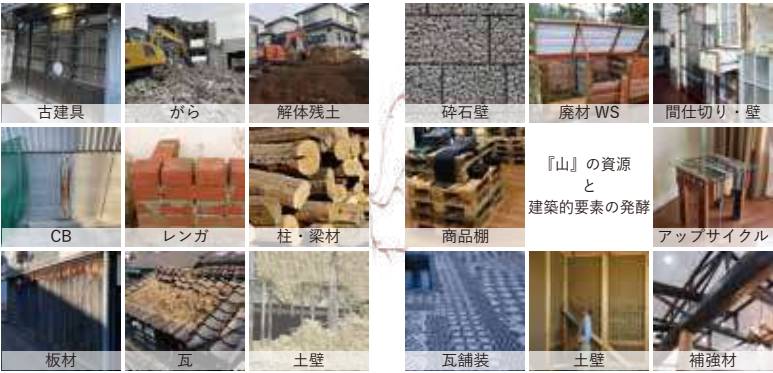
道路側に広がりを持っていた生活の一部が、町の縁側に展開され地域住民を受け入れる。



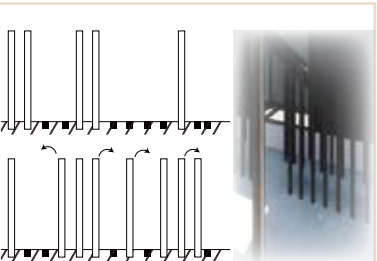
住民たちの手で作られた防火壁は、経年変化により新たなファサードとして現れる。



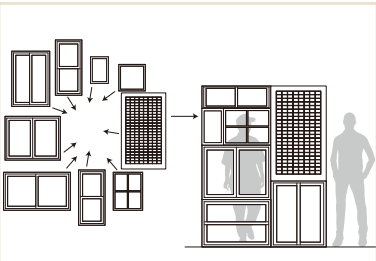
解体され生まれた空間で食堂と連携して、ミニ温室やコンポストスペースを併設する。



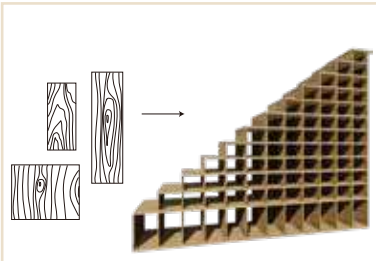
解体によって発生したガラを粗骨材とした手作りの多孔質CBによって防火壁を設ける。保水性と緑化性で水の壁、緑の壁生まれる。



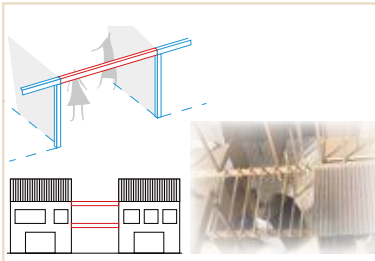
角材を差し込み貯める穴を開けた土間を設ける。利用者が角材を差し替え、動かし空間を変化させる。



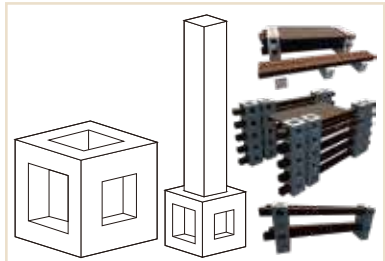
民家の建具はそれぞれ取り外され、組み合わせることで建具の壁として新たに機能し始める。



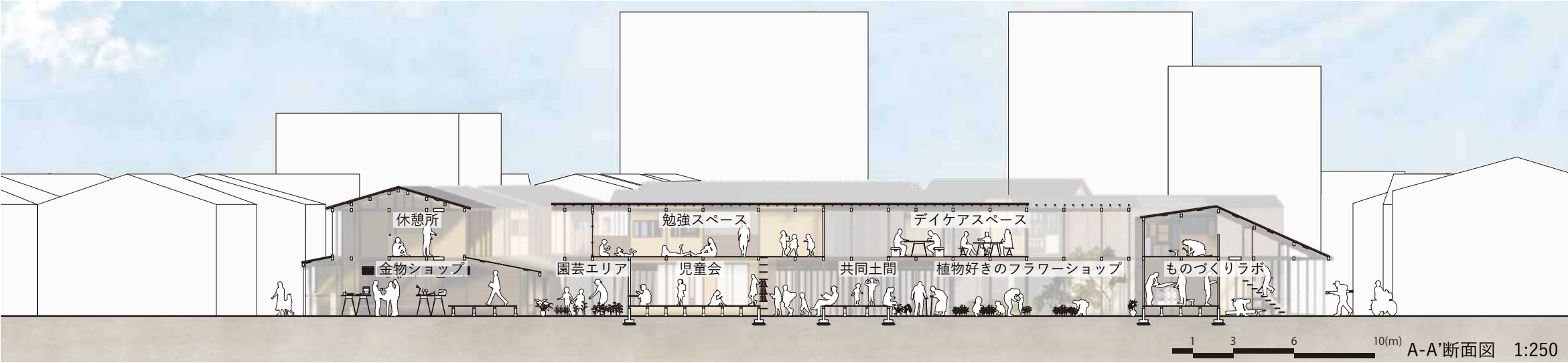
小さい板材は箱のユニットにされ、積んでおくことで棚階段となり住宅のなかで使



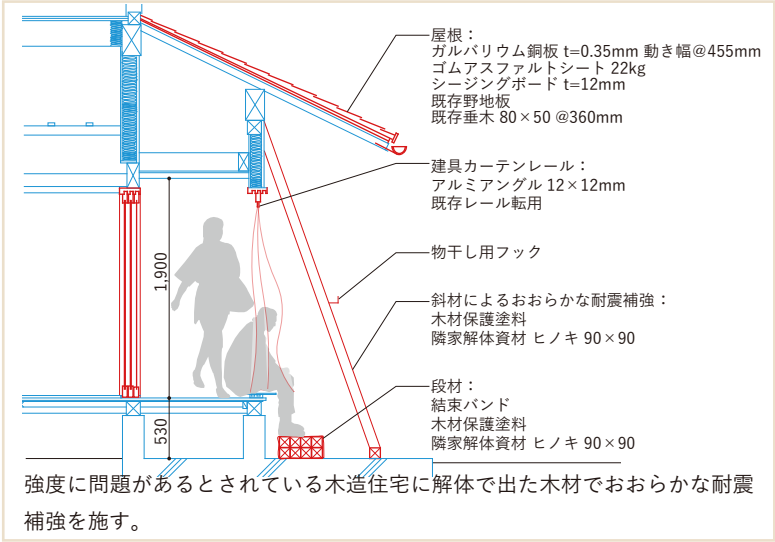
断面の大きな木材は、梁材として利用しバ



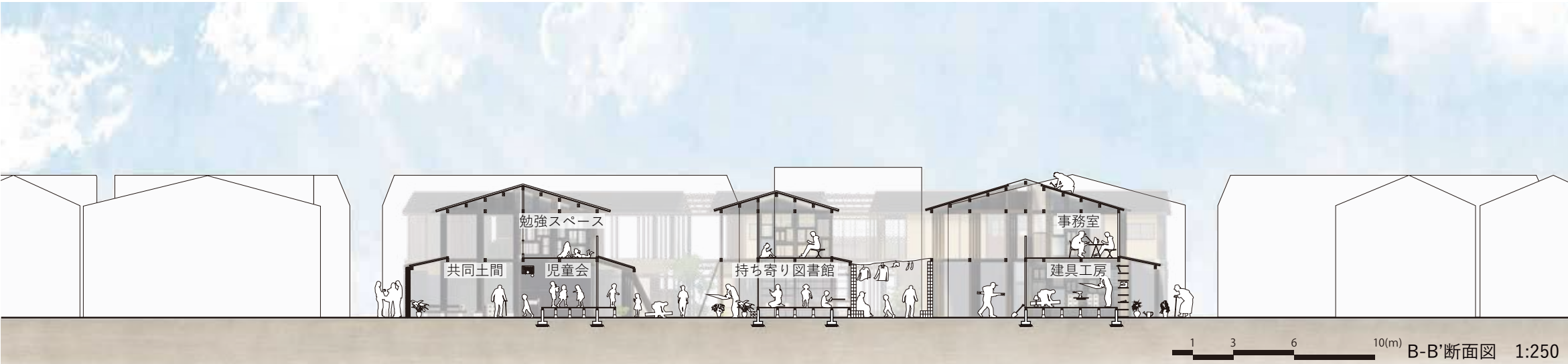
90、105、120 角の穴の開いたブロックに木材を差し込む。積んで貯めたり組み合わせることで新たな家具や設えとして使用される。



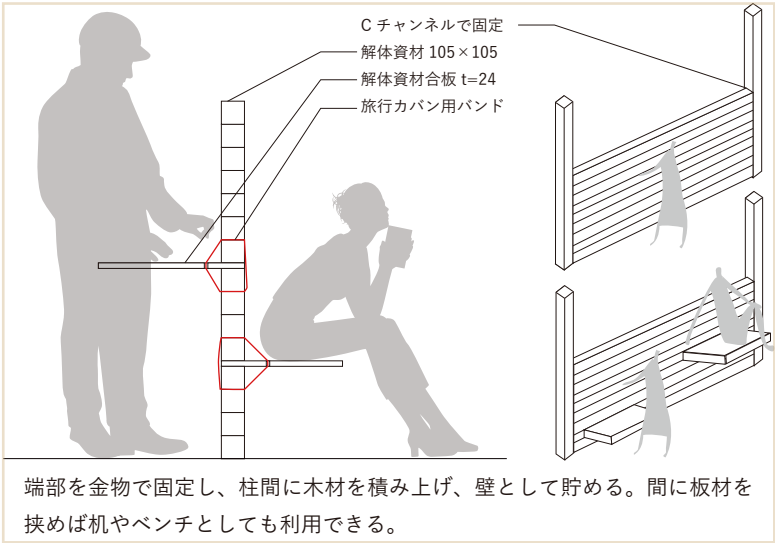
A-A'断面図 1:250



強度に問題があるとされている木造住宅に解体で出た木材でおおらかな耐震補強を施す。



B-B'断面図 1:250



端部を金物で固定し、柱間に木材を積み上げ、壁として貯める。間に板材を挟めば机やベンチとしても利用できる。